

課題解決型プロジェクト会議【住まいプロジェクトチーム】実績報告書

回	日付	場所	参加者数
1	令和1年9月13日(金)	大隅弥五郎伝説の里 健康ふれあい館 会議室	8名

【協議内容】

①講演 NPO法人やどかりサポート鹿児島 理事長 芝田淳 様
「地域ふくし連携型連帯提供事業(地域ふくし連帯保証)の紹介について」

②休憩

③協議(質疑応答等)

(やどかりサポート鹿児島:芝田)

中核機関とは、成年後見利用促進法に基づいて、市町村単位や広域単位で作っても構わない。成年後見制度の普及啓発や実際相談を受ける。後見人のマッチング。また、市民後見人の養成。法人後見。以上のことを進めるのが中核機関である。法人後見のメリットは、永存性だったり横領等が起きにくい。今後、そのような対象者が増えるから。権利制限を伴わない権利制度を皆さんと実現したい。身寄りの居ない方の入退院支援の研究をしまして、入院をする際に連帯保証人を設けないといけない6つの理由(①未払いを防ぐ。②医療同意。③身の周りの世話。④退院時のこと。⑤死亡時のこと。⑥緊急連絡先。)

(つばさ:迫田)

最近利用者が、破産して衣・食・住の全てをサポートしている利用者が2名程居て大変。1件は児童相談所も関わっているの、大変難しいケースである。

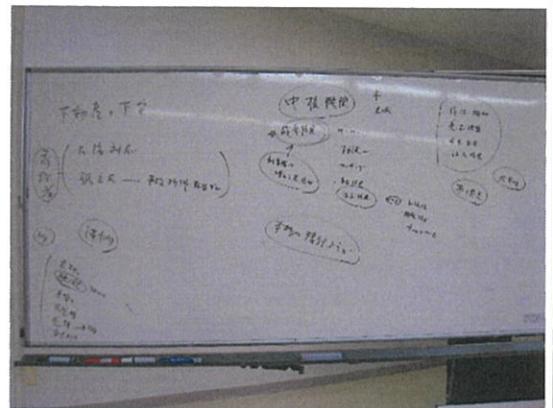
(しぶし生活自立支援センター「ひまわり」:山下)

ケース会議等を開催して、関係機関を招集し協議した方がいい。次回、日程調整して開催して環境改善していきましょう。

◆ 今後の内容等について ◆

今回は、グループワークを実施する。この地区でどういったことをしていきたいかやどういったものが欲しいかなど。改めて整理をしたい。

協議内容等



課題解決型プロジェクト会議【住まいプロジェクトチーム】実績報告書

回	日付	場所	参加者数
2	令和 1 年 11 月 15 日(金)	大隅弥五郎伝説の里 健康ふれあい館 会議室	9 名
協議内容等	<p>【協議内容】</p> <p>①今後のプロジェクト会議について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所のおばちゃんみたいな地域の人が見守りとか出来れば良いと思う。 ・今後メンバー追加は、医療関係やワーカー等、またはグループホーム等施設関係者等はどうか。 ・行政関係は、全ての市町福祉担当者は出席依頼をする。 <p>※下記、次回日程は、鹿児島県居住支援協議会をお招きして実施予定。</p> <p>【次回日程】 日時:令和2年1月17日(金) 15時から 場所:大隅弥五郎伝説の里 健康ふれあい館 会議室にて 内容:鹿児島県居住支援協議会との意見交換会</p>		
			

回	日付	場所	参加者数
3	令和 2 年 1 月 17 日(金)	大隅弥五郎伝説の里 健康ふれあい館 会議室	38 名
協議内容等	<p>○「曾於地区居住支援意見交換会」</p> <p>参加者:2市1町の行政関係者(建設課、福祉課等)、福祉関係者(社協、包括、福祉事業所)</p> <p>内 容:鹿児島県居住支援協議会主催による意見交換会</p> <p>【結果】プロジェクト会議(住まい)メンバーと県居住支援協議会の方々との意見交換を行い、そお地区内の課題や今後の取り組み方等のアドバイスを頂き、地域全体として今後に向けて検討するよいきっかけづくりとなった。</p> <p>なお、今回は、課題解決型プロジェクト会議住まいプロジェクトチームとして、今後の検討も次回日程調整も出来ず、今後の日程も未定で終了した。</p>		